

祭りともちなみ 連続講演会

本講演会に関するお問い合わせは、
関西大学環境都市工学部 岡絵理子

一般社団法人
住まい・まちづくり担い手支援機構

住まい・まちづくり担い手事業

主催:NPO八木まちづくりネットワーク 共催:関西大学

連続講演会1 祭りのあるまち・まちづくり

平成22年11月7日(日) 午後1時～2時30分 場所:八木地区公民館 入場無料

講師 増井正哉

伝統的なまちなみがあり、伝統的な祭り・愛宕祭りのある八木のまち、しかし人々の暮らしは変化し、伝統的な祭りやまちなみを支えきれず、空き地や空き家も増えていく兆しが見られています。永く今井町や八木を見守ってこられ、全国の多くの伝統的な町の現代的課題に取り組もうとされている増井正哉先生に、人々が伝統的なまちなみを背景に、生き生きと暮らす、そんな八木のまちづくりを進めるヒントを、お話ししていただきます。

増井正哉(ますいまさや) 略歴

奈良女子大学生生活環境学部教授 1955年生。京都大学大学院工学研究科単位取得退学。博士(工学)。京都大学工学部助手を、奈良女子大学助教授を経て現職。専門は歴史遺産の保存・活用、建築史。奈良県・滋賀県・京都府・徳島県で保存対策調査、重伝建地区の選定作業に携わる。パキスタン・インドにおける遺跡調査・保存事業にもとりくんでいる。

日本建築学会霞ヶ関記念賞、建築史学会賞受賞(共同)。著書に『まち祇園祭すまいー都市祭礼の現代』(共編)、『住まいのかたち・暮らしのならい』(共編)、『ラニガトーガンダーラ仏教遺跡の総合調査1983-1992』(共著)など。伝建対策調査・見直し報告書として、『東祖谷落合』『今井町』など。

◆「八木地域まち模型」が、完成します。八木札の辻を中心し、町の模型を1/400でつくりました。当日講演会後、NPO八木まちづくりネットワーク事務所(八木公民館南隣)にて、お披露目させていただきます。是非、お立ち寄りください。

連続講演会2 歴史的な路地のまちづくり

平成22年11月21日(日) 午後2時～4時 場所:八木地区公民館 入場無料

講師 小林郁雄

伝統的な祭り・愛宕祭りのある八木のまち、そこは伝統的なまちなみと路地のまちです。木造の家屋が建ち並ぶ路地のまち、八木では、人々は火事をおそれ、火の除けの神様、愛宕さんを信仰してきました。今では、全世界、全国の同様の町が、まちづくりに取り組み、まちを少しずつ変えながら、火事や地震に強い町に変えていく取り組みをしています。このようなまちづくりを進める地域の人々を支え、応援してこられたまちづくりのプロ、小林郁雄先生に、皆さんが好きな八木の町の特性を活かしながら、火事や災害に耐えうるまちづくりを進めるヒントを、お話しいただきます。

小林郁雄(こばやしいくお) 略歴

現在、まちづくり(株)コー・プラン アドバイザー 1944年名古屋生まれ。神戸大学・大阪市大大学院卒、(株)都市・計画・設計研究所を経て、現職。阪神大震災復興市民まちづくり支援ネットワーク世話人、人と防災未来センター客員研究員、神戸山手大学教授、元大阪大学工学部・大学院工学研究科講師(非常勤)

地域計画、市街地整備から住民主体のまちづくりまで広い分野の都市計画プランナー

◆当日は、鳴海邦碩先生(関西大学大学院理工学研究科客員教授、大阪大学名誉教授)による、路地の町の国際交流(日本の向島とドイツのオッテンゼン)事例の映像をご紹介頂きながら、路地の町のまちづくりについての質疑、意見交換を予定しています。